

第3回国連防災世界会議を成功裏に収める件

3月14日から18日まで第3回国連防災世界会議が仙台市で開催され、前回の会議で策定された「兵庫行動枠組」の後継となる新たな国際防災の枠組が策定される予定である。

当該会議は、東日本大震災からの復興を発信し、震災の経験から得た知見と教訓を風化させることなく、国際社会と共有することにより、国際貢献を行う重要な機会であるとともに、東北の復興を力強く後押しするものである。

国内外から4万人以上の多数の参加者が予定されており、会議の開催にあたっては、テロ等を想定した危機管理体制の構築など万全な態勢で臨む必要があるとともに、市民一人ひとりがおもてなしの心で迎える市民意識の醸成も大切である。当該会議は、未曾有の災害を乗り越え、復興を遂げようとする仙台の今の姿を世界の方々に見ていただける貴重な機会であり、その成功に向けて、市民とともに一丸となって取り組むことが重要である。

これまで本市議会では、東日本大震災の復旧復興に関する特別委員会を設置するとともに、国に対し要望活動を重ねるなど、本市の復興に力を尽くしてきており、当該会議の成功を切に願うものである。

よって、本市議会は、国や県との連携及び市民の協力のもと、当該会議がその目的を十分に果たし、大きな成果をあげることができるよう強く望むものである。

以上、決議する。

平成27年2月24日

仙 台 市 議 会